

令和3年度進行管理・評価シート
国見町歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）
（最終変更 令和2年6月26日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実現に向けた推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画・景観法・屋外広告物法・阿津賀志山防塁保存管理計画との連携	2
2 景観計画策定に向けた取り組み	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 阿津賀志山防塁史跡整備事業	4
2 阿津賀志山防塁史跡アクセス道改修事業	5
3 阿津賀志山防塁歴史公園整備事業	6
4 無形民俗文化財活動支援事業	7
5 国見町歴史文化読本作成事業	8
6 歴史を活かしたまちづくり推進事業	9
7 案内ボランティア育成事業	10
8 周遊性向上検討・案内板設置事業	11
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の維持・修理に関する取組	12
2 文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組	13
3 文化財の周辺環境の保全に関する取組	14
4 文化財の防災・防犯に関する取組	15
5・6 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組	16～17
7 埋蔵文化財の取扱いに関する取組	18
8 文化財の保存活用に関わっている民間団体と連携・協力した取組	19
9 文化財の保存・活用に関わる近隣市町村および関連機関との連携・協力した取組	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 国見の魅力を学ぶ(案内人研修会登録証を交付)等	21
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 文化財の保存・活用の普及・啓発による効果	22

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 23

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和3年度																				
項目		現在の状況																					
計画の実現に向けた推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																					
計画に記載している内容	歴史まちづくり庁内検討委員会で計画推進のため庁内の連絡調整を行うものとする。「国見町歴史的風致維持向上計画協議会」に意見や協力を求めることとし、事務局・庁内検討委員会は連携・調整し、計画の推進や計画の変更について連絡調整を行い、必要に応じて国・県と協議しながら進める。																						
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																							
第7回国見町歴史的風致維持向上計画協議会を书面表決にて開催し、進捗管理に関する報告・協議を行った。また歴史まちづくり庁内検討委員会を開催し、進捗状況の確認、今後の事業スケジュール、事業実施の調整等を協議した。																							
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																					
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		歴史まちづくり計画の事業推進に向け、一層の情報共有と、目的の共有化を図ることが必要であり、連携を強化していく。																					
状況を示す写真や資料等																							
<p style="text-align: center;">■計画の推進体制図</p>																							
<p>●令和3年度歴史まちづくり庁内検討委員会構成</p> <table border="1"> <tr> <td>建設課長</td> <td>1名</td> <td>建設係1名</td> <td>管理係1名</td> </tr> <tr> <td>産業振興課長</td> <td>1名</td> <td>商工観光係1名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校教育課長</td> <td>1名</td> <td>学校教育係1名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生涯学習課長</td> <td>1名</td> <td>生涯学習係1名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企画調整課長</td> <td>1名</td> <td>地域振興係4名</td> <td></td> </tr> </table>				建設課長	1名	建設係1名	管理係1名	産業振興課長	1名	商工観光係1名		学校教育課長	1名	学校教育係1名		生涯学習課長	1名	生涯学習係1名		企画調整課長	1名	地域振興係4名	
建設課長	1名	建設係1名	管理係1名																				
産業振興課長	1名	商工観光係1名																					
学校教育課長	1名	学校教育係1名																					
生涯学習課長	1名	生涯学習係1名																					
企画調整課長	1名	地域振興係4名																					
<p>●会議の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会議名称</th> <th>開催年月日</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第7回国見町歴史的風致維持向上計画協議会</td> <td>令和3年5月7日～25日(書面開催)</td> <td>令和2年度進行管理評価・中間評価等</td> </tr> <tr> <td>第1回歴史まちづくり庁内検討委員会</td> <td>令和3年5月7日</td> <td>令和2年度進行管理評価・中間評価等</td> </tr> <tr> <td>第2回歴史まちづくり庁内検討委員会</td> <td>令和3年11月7日</td> <td>計画の進捗状況の確認、今後の事業予定について</td> </tr> </tbody> </table>				会議名称	開催年月日	概要	第7回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	令和3年5月7日～25日(書面開催)	令和2年度進行管理評価・中間評価等	第1回歴史まちづくり庁内検討委員会	令和3年5月7日	令和2年度進行管理評価・中間評価等	第2回歴史まちづくり庁内検討委員会	令和3年11月7日	計画の進捗状況の確認、今後の事業予定について								
会議名称	開催年月日	概要																					
第7回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	令和3年5月7日～25日(書面開催)	令和2年度進行管理評価・中間評価等																					
第1回歴史まちづくり庁内検討委員会	令和3年5月7日	令和2年度進行管理評価・中間評価等																					
第2回歴史まちづくり庁内検討委員会	令和3年11月7日	計画の進捗状況の確認、今後の事業予定について																					

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
都市計画・景観法・屋外広告物法・阿津賀志山防塁保存管理計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

【都市計画との連携】「県北都市計画区域」に指定され、都市計画との適切な連携を図ることで、良好な市街地と街並み景観が形成されていくよう誘導を図っていく。

【景観法との連携】「福島県景観計画」による景観計画区域に町全域が指定され、届出が必要な行為及び景観形成基準が定められ、一定規模以上の開発に対し良好な景観を形成するよう規制している。

【屋外広告物法との連携】「福島県屋外広告物条例」により、「良好な景観の形成」及び「歴史的風致の維持」などの観点から、町的美観や自然景観を損なわないような規制が定められている。

【阿津賀志山防塁保存管理計画】文化財保護法に即して策定された「阿津賀志山防塁保存管理計画」により、7つの管理基準に基づき、規制及び今後の保存方針が示され、適切な保存・管理が図られている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

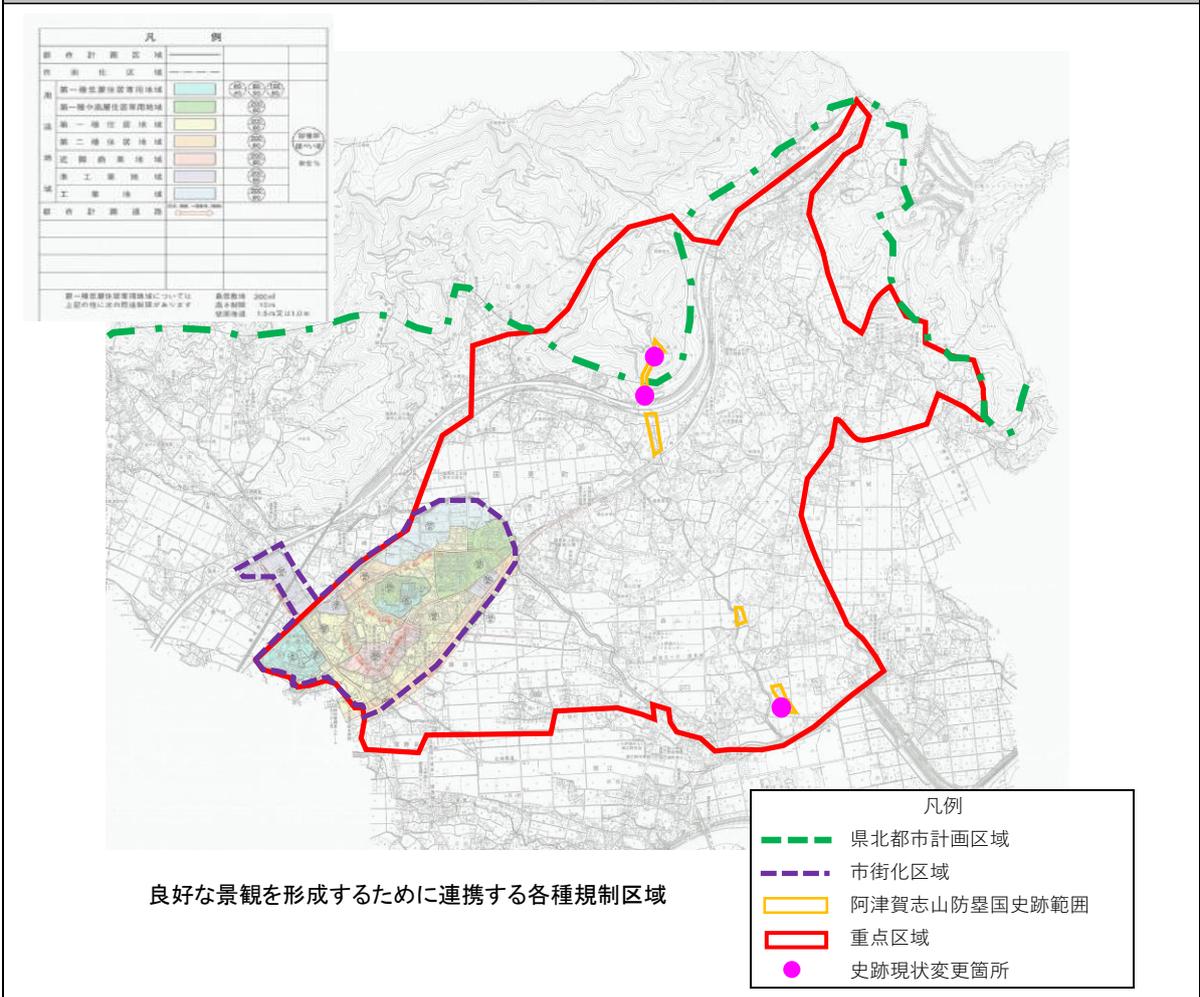
重点区域を含む町内を規制している県北都市計画区域・福島県景観計画・福島県屋外広告物条例および、阿津賀志山防塁の規制と保存方針を示した同保存管理計画の規定に基づき、開発等の届出・申請が必要な行為に対し、助言や手続きを行った。

令和3年度実績

- ・福島県屋外広告物条例(特別規制区域・普通規制区域) 届出10件
- ・阿津賀志山防塁(国指定史跡範囲) 現状変更申請 3件 (※軽微な変更含む)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和3年度
景観計画策定に向けた取り組み		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
本町には、奥羽山脈を西に擁し、雄大な山並みと阿武隈川の恵みを背景に美しい田園風景が広がる農村景観、および奥州街道・羽州街道沿いに形成された街道集落を中心とする歴史的景観、旧宿場町を母体とする都市景観など、多様で良好な景観が形成されている。歴史遺産とともに、雄大な山並みと一体となった景観を維持し、後世に継承するため、景観行政団体へ移行するとともに、景観法に基づく景観計画を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
地域に残る歴史や文化、自然を守り、活かしながら、周辺の景観と調和した良好なまち並み・景観の形成を図るため、景観行政団体として取り組むべき景観施策を明らかにした上で、今後の国見町における景観づくりの方針等を示した景観計画を平成30年度より策定に向けた取り組みをしている。
令和3年度実績
・景観計画策定に向け、昨年度までに実施した町民アンケート結果や団体からのヒアリング内容を集約しながら、「国見町歴史的景観保存計画(素案)」の本文部分の作り込みを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	「国見町歴史的景観保存計画(素案)」について、早期の策定を目指す。

状況を示す写真や資料等

3. 景観計画

3.1. 景観計画の目標

景観計画の策定に向け、本町の個性ある景観イメージを示すテーマとして「景観の将来像」を設定し、景観形成の将来像を実現するための基本目標を設定します。
基本目標は、本町にふさわしい景観形成を実現するため、「守る(保全)」、「いかす(活用)」、「直す(改善)」、「創る(創出)」、「育てる(育成)」の5つの視点から検討を行います。

(1) 景観の将来像

本町においては、吾妻連峰の山並みを背景に、豊かな田園風景と四季折々の風景の中の人々の営みによって、旧街道の宿場町を地味とした独自の景観が維持されており、「国見町歴史的景観維持向上計画」において、これらは『将来へ残すべき国見のたからもの』として、住民と行政が協働し、維持・管理していくものとしています。
また、近年では国道4号沿道に「道の駅国見 あつかし」が開業したことにより、町内外から人が集まり、新たなにぎわいの景観が形成されています。
その一方で、空き家や空き地の増加、廃墟としての旧藤田町の衰退などから、市街地景観の悪化が指摘されるとともに、歴史的建造物などの保全・活用と、景観資源等に関する情報発信やネットワーク形成等が課題となっています。
以上のような背景を踏まえ、本計画においては、景観の将来像を以下のように定めます。

<景観形成の将来像>

悠久の歴史と自然の中に息づく国見の景観

～将来へ残すべき国見のたからもの～

- 国見のまちをゆく自然豊かな山並みと田園風景、宿場町の街並みと歴史的な建造物・史跡などの特徴的な景観を「将来へ残すべき国見のたからもの」として、今後も保全するとともに、磨きをかけます。
- さらに、「道の駅 国見あつかし」の開業による人のにぎわいを中心とした風景を育てていくとともに、旧藤田町の街並みの再生を進め、『悠久の歴史と自然の中に息づく国見の景観』を将来像とします。



(2) 基本目標

基本目標1 守る(保全)
国見のまちをゆく山並みや田園、歴史・文化と調和した景観を守る

国見のまちをゆく山並みと果樹園を中心とした田園風景は、町民の身近に感じられる景観として、四季折々に自然の恵みの豊かさを印象付けています。また、点在する集落地においては、落ち着いた田園風景の中で、地区に根ざした伝統的な祭礼や行事が継承されています。さらに、奥山家住宅や阿津賀志山防壁などの歴史的な建造物・史跡がまちの中に点在しており、これらが調和することにより国見の特徴ある景観を形成しています。
そこで、このような国見のまちをゆく山並みや田園、歴史・文化と調和した景観を守ります。

基本目標2 いかす(活用)
国見のまちに息づく歴史的な遺産を景観づくりにいかす

国見には、奥山家住宅や旧佐藤家住宅などの歴史的建造物や藤田城跡などの史跡、社寺が多く存在しています。また、阿津賀志山防壁は、人々の暮らしの中で池や堰などに転用されながらも原形をどめ、町の歴史を伝える史跡として守られてきました。
このような優れた景観資源の適切な保全を図るとともに、景観資源周辺の整備や散策ルート及び情報発信の充実により来訪者の回遊性を高め、国見のまちに息づく歴史的な遺産を景観づくりにいかします。



奥山家住宅

基本目標3 直す(改善)
国見らしい街並みの再生を目指し、市街地景観の改善を進める

東日本大震災の被害や社会経済情勢の変化に伴い、空き家や空き地が増加するとともに、中心商業地としての旧藤田町の衰退により、国見らしい宿場町としての街並みが失われつつあります。
このような市街地景観の悪化に対して、空き家・空き地の適正な管理、そして利活用や所有者への支援方策の検討を進め、国見らしい街並みの再生を目指し、市街地景観の改善を進めます。



旧藤田町の街並み

国見町歴史的景観保存計画(素案)(一部)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
阿津賀志山防塁史跡整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和6年度

支援事業名 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業、史跡等買い上げ事業

計画に記載している内容 史跡の追加指定や公有地化した範囲を含め、整備に必要となる情報を得る為の、史跡内容確認調査を行うとともに、堀・土塁などの復原整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①【東・西国見地区】遺構内容確認を目的とした第26次発掘調査(令和3年6月1日～令和3年6月25日:105㎡)
- ②【遠矢崎地区】追加指定手続き(2,372㎡)
- ③【下二重堀地区】阿津賀志山防塁下二重堀地区史跡整備工事(令和3年10月19日～令和4年2月28日、公園整備A=719.0㎡)
- ④第26次調査成果、史跡の追加指定、歴史公園整備事業等に関わる協議のため調査・整備指導委員会を開催(令和3年11月17日)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

史跡等買い上げ事業については、平成28年度から開始し、概ね計画通りの進捗であるため、引き続き公有地化・活用について推進する。

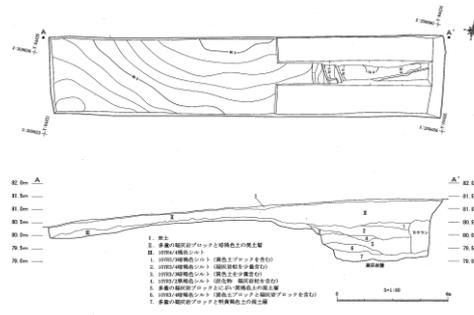
状況を示す写真や資料等



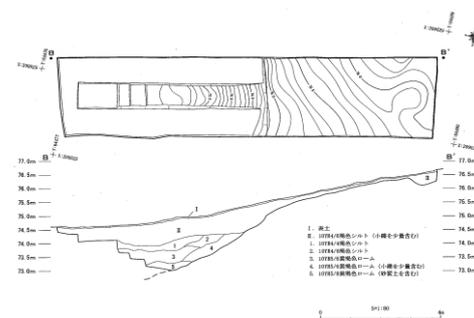
阿津賀志山防塁整備箇所・発掘調査区・追加指定手



第26次調査 2号トレンチ調査状況



下二重堀地区公園整備実施状況



第26次調査トレンチセクション図・平面図

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
阿津賀志山防塁史跡アクセス道改修事業			現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～令和4年度		
支援事業名	町単独事業、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	阿津賀志山防塁の保存状態が良好な箇所は、傾斜地や農地に分散しアクセス道の整備が行き届いていない。車幅が不十分な町道はバス等の進入が困難であるため、町道改修を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【下二重堀地区】阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園(あつかし千年公園)整備に併せて来訪者駐車場の整備を行った。これまでバスのアクセスは道路幅員の関係で困難であったが、バスの駐車や転回も可能な駐車場を整備することで、バスによる来訪者受入も可能になった。また、周辺道路の舗装工事を行った。整備工事は令和3年度中に完成した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	国道4号北側地区のアクセス道整備については、史跡整備及び周辺整備と併せた一体的な整備の検討が必要。		

状況を示す写真や資料等



阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園駐車場
(普通車30台、バス2台、身障者用駐車場2台)



歴史公園周辺道路の舗装工事

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
阿津賀志山防塁歴史公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 町単独事業、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 下二重堀地区と国道4号北側地区の周辺に園地整備を行う
下二重堀地区周辺においては、駐車場・遊歩道の整備を行い阿津賀志山と中尊寺蓮池を一体的に周遊できるよう整備、またガイダンス広場を設置し歴史認識を深めるよう整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園造成工事(令和2年3月18日～令和3年5月31日)
- ②阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園建築工事(令和3年1月18日～令和3年5月10日)
- ③歴史公園整備事業に関わる協議のため調査・整備指導委員会を開催(令和3年11月17日)
- ④阿津賀志山防塁下二重堀地区史跡整備工事(令和3年10月19日～令和4年2月28日、公園整備 A=719.0㎡)
- ⑤阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園(あつかし千年公園)落成式を開催(令和3年7月10日)
- ⑥公園の管理や活用に向けた地域住民団体との打ち合わせを11回開催

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園竣工
全景



阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園竣工
四阿、トイレ・ガイダンス複合施設



阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園落成式
(7月10日)



調査・整備指導委員会を開催
(11月17日)

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項							
項目	評価対象年度 令和3年度 現在の状況						
無形民俗文化財活動支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手						
事業期間	平成27年度～令和6年度						
支援事業名	文化遺産を活かした地域活性化事業、文化遺産総合活用推進事業、町単独事業						
計画に記載している内容	祭礼や神楽等の伝統芸能を行っている団体と連携し、活動内容の把握と映像による記録作成などの学術調査を行うとともに、団体に対し伝統的な用具等の修繕や活動を保存していく取り組みに対して支援を行う。						
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で							
①町指定無形民俗文化財の保護団体である1団体に対し、文化財保護育成にかかる活動について助成(国見町社会教育関係団体補助金)を行った。 ②太々神楽の継承を図る子ども太々神楽教室を支援し、6人の生徒が6回の練習を行った。教室では、マスクの着用・消毒な新型コロナウイルス感染予防対策に努め、参加者のソーシャルディスタンスの確保、検温など予防対策を講じて実施した。また、9月12日には福島県芸術祭に出演し、発表した。							
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)						
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルスの影響で祭礼やイベントが中止となり、神楽教室での練習の成果を発表する場を多数設けることができなかった。コロナ禍でも安全に配慮しながら、発表の場を設けられるよう、保存会との協議・検討が必要。						
状況を示す写真や資料等							
<p>■子ども太々神楽教室</p> <p>明治時代より伝わる内谷春日神社太々神楽を後世に伝えるため、10月から11月にかけて6回の練習が行われた。9月12日に福島県芸術祭に出演し、太々神楽を披露した。</p>							
							
練習風景							
<p>■無形民俗文化財支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイトル</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内谷春日神社太々神楽保存会への支援</td> <td>助成金(町単独)</td> </tr> <tr> <td>子ども太々神楽教室</td> <td>国見町子ども太々神楽教室の参加者募集に関する支援</td> </tr> </tbody> </table>		タイトル	概要	内谷春日神社太々神楽保存会への支援	助成金(町単独)	子ども太々神楽教室	国見町子ども太々神楽教室の参加者募集に関する支援
タイトル	概要						
内谷春日神社太々神楽保存会への支援	助成金(町単独)						
子ども太々神楽教室	国見町子ども太々神楽教室の参加者募集に関する支援						

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
国見町歴史文化読本作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和6年度		
支援事業名	文化遺産総合活用推進事業		
計画に記載している内容	阿津賀志山の合戦、鹿島神社の例大祭など各地の歴史や史跡・建造物と人々の活動をそれぞれのテーマ毎に調査成果をまとめ、「歴史文化読本」(仮称)を作成する。また小中学校の授業とも連携し『国見学』を深める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度に町の文化財や人々の活動等の周知啓発を図るため、歴史や文化財を網羅し小中学生や来町者に分かりやすく、歴史めぐりができる「くにみ歴史本」を4000部作成した。今年度も町内の小中学生に配布し、小学校の歴史フィールドワークや中学校の歴史学習にて教材として活用した。また、文化財センターあつかし歴史館のボランティアスタッフ研修会での教材としても使用し、町の歴史や文化への理解を深めるために活用した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



国見小学校社会科「郷土学習」



県北中学校総合学習「歴史学習」



文化財センターあつかし歴史館のボランティアスタッフ研修会



「くにみ歴史本」表紙

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
歴史を活かしたまちづくり推進事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、文化遺産総合活用推進事業、町単独事業

計画に記載している内容 歴史を活かしたまちづくりや地域住民のまちづくり参加への意識醸成及びまちの魅力の再発見が重要かつ必要であり、住民向けの講演会、ワークショップ、シンポジウムの開催を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
歴史を活かしたまちづくりを進めるため、様々な視点をもったワークショップ等を開催した。
①新たにオープンしたあつかし千年公園を会場に、(一社)二重堀サポートネットワークと協力し、蓮まつりを開催した。(約2000名来場)蓮まつりではクラフトワークショップや案内ガイド等を行った。
②新たにオープンしたあつかし千年公園を会場に、(一社)二重堀サポートネットワークと協力し、蓮池及び防塁のライトアップを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
シンポジウムを企画していたが、新型コロナウイルスまん延防止等重点措置期間となり開催できなかった。イベントでの感染防止対策と、インターネット配信なども含めたシンポジウム開催を行っていく。

状況を示す写真や資料等



蓮まつりでのクラフトワークショップ



あつかし千年公園ライトアップ

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
案内ボランティア育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和6年度

支援事業名 町単独事業、文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 本町を訪問する観光客や小中学校の児童・生徒に対し、町の歴史や人々の伝統的な活動、町並みと現在の国見町について語ることができる人材の育成を図る。案内ボランティアの養成・研修を目的とした、講習・現地視察等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本町には、様々な時代や生活文化を反映した文化財が所在し、現地での案内ガイドがセットになることで、魅力・価値が高まる。案内ガイドを担うボランティアガイドの育成を図った。現在、案内ガイド「くにみ案内人」は17名が登録。また、国見町文化財センターあつかし歴史館の館内を案内するボランティア「あつかし歴史館サポーター」は15名が登録している。今年度は歴史館サポーター研修に力を入れ、年4回の研修会を行った。うち1回は視察見学を予定していたが新型コロナウイルスの影響により中止となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
 ■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 ガイドの資質向上と、多くの来町者への対応力育成を継続的に行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



第1回サポーター研修会(4月24日)
 「くにみ歴史本」を使った研修
 (場所)あつかし歴史館研修室



第3回サポーター研修会(10月9日)
 企画展示の解説を通して町内文化財を伝える研修
 (場所)あつかし歴史館 展示室

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
周遊性向上検討・案内板設置事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和3年度

支援事業名 町単独事業、文化遺産総合活用推進事業、福島県観光力づくり支援事業

計画に記載している内容 来町する観光客が、本町の点在する文化財を効率よく、かつ楽しみながら観光できるより良いルートを検討し、周遊案内板の設置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道の駅・JR貝田駅等を拠点とした周遊ルートの実践的検討を目的とした周遊観光ツアーなどを実施。町の歴史をはじめとした豊富な観光資源の周知啓発につながった。
 ①町内歴史散策ツアー：町イベントやJR東日本と連携し、町内の歴史を散策するツアーを開催した(計1回)。
 ②歴史文化遺産解説看板設置：案内解説板を1か所に設置した。
 ③新たにオープンしたあつかし千年公園の案内板を設置した。
 ④あつかし千年公園のパンフレットを作成し、あつかし歴史館、道の駅の施設情報を掲載した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない
 新型コロナウイルス対策として、人数制限を行いツアーを開催した。参加者が安心して参加できるような感染防止対策と、オンラインなどの活用も検討が必要である。

状況を示す写真や資料等



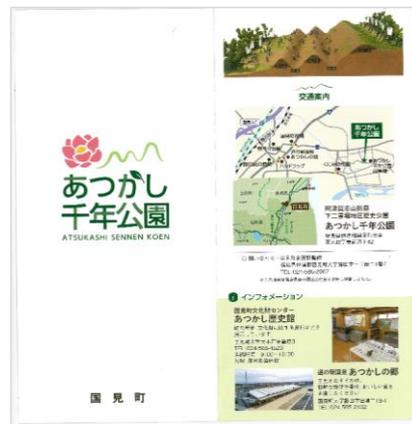
【町内歴史散策ツアー】
JRとの連携事業・貝田宿と御滝公園めぐり(10月14日)



【歴史文化遺産解説看板設置】
町指定天然記念物 深山神社大榎と大藤



あつかし千年公園案内板



あつかし千年公園パンフレット

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の維持・修理に関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	経年劣化や災害等の外的要因によるき損の恐れがあることから、日頃の維持管理を含めた予防対策と、き損した場合の適切な修理が求められる。所有者等による適切な維持管理と日常的な点検を行うことで損傷の早期発見に努め、必要に応じて、所有者等の意識向上のための適切な助言を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①国史跡「阿津賀志山防塁」ほか町史跡等における草刈 10か所 ②福島県重要文化財(建造物)「旧佐藤家住宅」燻蒸作業 4回実施 ③文化財パトロールの実施(強風による倒木の撤去、3/16発生福島県沖地震等被害状況調査) ④令和3年2月13日発生福島県沖地震で被害のあった建造物3件へ災害復旧のための補助金交付及び復旧方法の協議を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	毎年のように発生する地震や自然災害の影響により、歴史的建造物の維持が困難となっている。保存活用していくために大規模改修等が必要であるが、財源確保が課題となっている。		

状況を示す写真や資料等



施工前



施工後

文化財パトロール
旧奥州道中国見峠長坂跡 強風による倒木確認・処理



施工前



施工後

2/13発生福島県沖地震により被害のあった文化財への復旧支援
(国登録「奥山家住宅洋館」の外壁修繕)

評価軸④-2 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本町は、国見町観月台文化センター内の歴史資料室が、文化財を展示・活用する施設となっているが、博物館的機能や町の文化財を総合的に情報発信する機能は十分ではない。このことから、今後これらに関する機能を持ち合わせた施設の整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国見町文化財センター「あつかし歴史館」の施設機能向上とともに、新型コロナウイルス対策を施しながら、利用者が足を運びやすい企画・展示をタイムリーに実施することで、町の文化財に対する理解を深めてもらうきっかけとした。 <ul style="list-style-type: none"> ・季節・年中行事を取り込んだ部分展示を実施。 ・展示内容の充実を図り町の歴史理解を深める展示を実施した。 ・あつかし歴史館に保存・展示している町郷土史家・故菊池利雄先生の研究資料を町民向けに解説する町民講座を計11回開催し、延べ330人が受講した(新型コロナウイルスの影響により1回延期)。 			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		新型コロナウイルス対策として、来館者へのマスク着用・検温・消毒・来館者名簿作成による来館者管理、また施設内のこまめな消毒作業を徹底し施設運営をした。引き続き、感染防止対策を講じて運営する。	
状況を示す写真や資料等			



あつかし歴史館での中尊寺蓮展示
(蓮の開花時期に合わせた阿津賀志山防塁のPR)



あつかし歴史館企画展示
(阿津賀志山三十三観音八十八大師画像碑群展)



あつかし歴史館企画展示
(大河ドラマ放送に合わせた阿津賀志山防塁展)



あつかし歴史館町民講座

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財の周辺環境の保全に関する取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財周辺の景観を阻害する要素の改善や除却を推進するとともに、文化財の説明板や案内板、誘導サイン等の公共サイン、便益施設等の公共施設を新たに設置する際や劣化によりその機能を発揮できていないものを再整備する際は、文化財や周辺の環境と調和したものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①公園になっている町指定史跡藤田城跡の植栽を剪定し、景観の改善を図った。
- ②劣化した阿津賀志山防塁の案内板を撤去し、新たに整備した「あつかし千年公園」のデザインに合わせたサインに統一し再整備した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



町指定史跡・藤田城跡植栽剪定



阿津賀志山防塁下二重堀地区(あつかし千年公園)案内看板修繕

評価軸④-4
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財の防災・防犯に関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
火災や地震等の災害による文化財の損失を防ぐため、個別の有形文化財毎に防災対策を検討する等、被災リスクの予防・軽減を図る。不幸にも、文化財が被災してしまった場合は、その後の防災対策に役立てるため、被災履歴を記録する体制を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①防火に対する取組
 - ・国見町消防団と連携し、町内文化財の消防訓練を町内5か所で実施(1月30日)
 - ・「文化財防火デー」の取り組みおよび火災への備えを周知する広報実施
- ②防犯に対する取組
 - ・文化財パトロールの実施(随時)

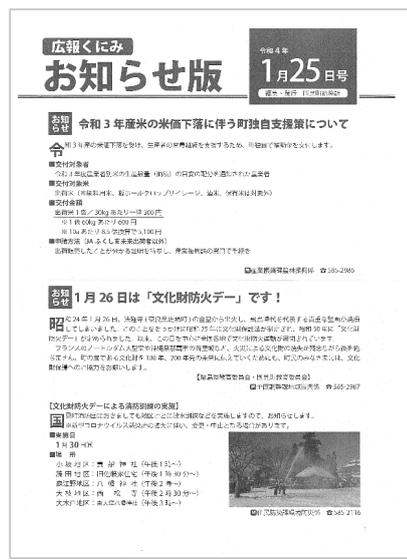
進捗状況 ※計画年次との対応
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

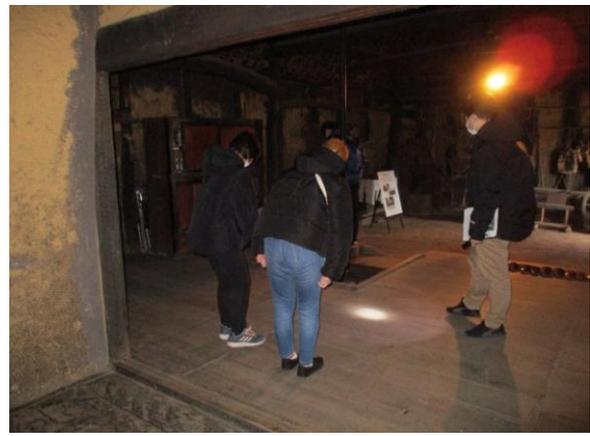
状況を示す写真や資料等



消防訓練の様子 県重文「旧佐藤家住宅」



町広報紙(お知らせ版)による周知



文化財パトロール
3/16福島県沖地震後の文化財被害状況調査

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 案内板等の設置やパンフレット等の作成・配布とともに、国見町文化財ボランティア等によるガイド活動や講演会・シンポジウムなどのイベントの開催等により、文化財に対しての普及・啓発を広く図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

学校教育との連携、歴史講座・まちあるき、文化財の案内ガイドなどを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



あつかし歴史館での国見町に関わる歴史町民講座の実施



総合学習での国見学の取り組み
国見小学校6年生歴史フィールドワーク

■文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組

タイトル	年月日	概要等
あつかし歴史館イベント	令和3年度	毎年度、歴史と年中行事にまつわるイベントを年4回実施してきたが、今年度は新型コロナウイルスの影響ですべて中止となった
聖光学院高校文化財見学	令和3年5月12日	授業の一環として防塁遺構等の見学 7人
福島大学ゼミ生歴まち重点地区見学	令和3年5月19日	福大生が歴まち計画の取り組みを見学 3人
町民による歴史探訪ウォーキング	令和3年6月24日	町民による歴史関連遺跡のウォーキング 20人
総合学習での国見学の取り組み	令和3年6月24日	県北中学校3年生の歴史館での学習 13人
国見小学校教員初任者研修	令和3年7月7日	国見小学校初任者教員の国見の歴史研修 1人
総合学習での国見学の取り組み	令和3年11月11日	国見小学校6年生フィールドワーク 60人
社会科での国見学の取り組み	令和4年3月9日	国見小学校3年生昔の暮らし学習 57人
町民講座	各月1回	11回330人(コロナにより1回延期)
文化財ボランティア案内件数	令和3年度	17件425人(コロナによるキャンセル多く有)

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 本町にある多くの文化財や歴史的遺産は町の成り立ちに大きく関わっている「国見のたからもの」であり、意識が醸成される過程で自らの町の歴史性や風土、この地に伝わる伝統や人々の共同体としての意識が培われていき保存・継承活動に対する理解も深まる。

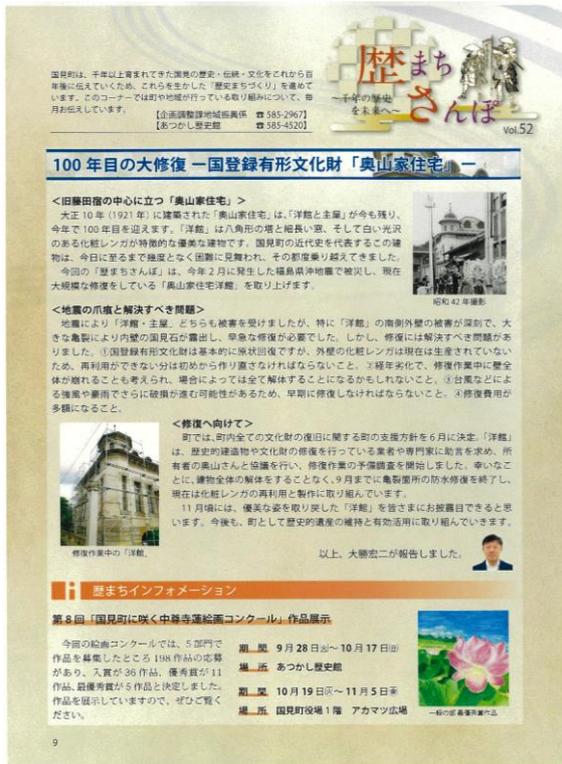
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

町民にとって身近な町の広報紙「広報くにみ」に、「歴まちさんぽ」と題して、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを活かした「歴史まちづくり」の取組について毎月掲載した。(平成29年7月から57回)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「広報くにみ 歴まちさんぽ」

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
埋蔵文化財の取扱いに関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本町における「周知の埋蔵文化財包蔵地」は、137ヶ所存在する。これらは地域の歴史を語る重要な歴史的資料であり、文化財保護法に基づく保護が求められる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
史跡整備に伴う発掘調査を1件実施した。このほか開発に伴う試掘・工事立会などを実施した。 【史跡整備に伴う発掘調査】・阿津賀志山防塁 1件 【開発に伴う試掘】・鹿島遺跡 1件 【開発に伴う工事立会】・藤田城跡 山崎城跡 正玄堂遺跡 各1件			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



史跡整備に伴う阿津賀志山防塁の発掘調査



開発に伴う工事立会(藤田城跡)



開発に伴う試掘(鹿島遺跡)

評価軸④-8
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財の保存・活用に関わっている民間団体と連携・協力した取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 当町には、文化財の調査・発信をしている団体や、無形の民俗文化財を保護するために活動している団体等、多種多様な活動を展開している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【町内民間団体】
 ○国見町郷土史研究会による方部研修会、展示会の開催
 6月～8月 阿津賀志山三十三観音八十八大師画像碑群展(前期)
 9月～11月 阿津賀志山三十三観音八十八大師画像碑群展(後期)
 11月14日 大木戸方部研修会・フィールドワーク(貝田宿・屋号めぐり) 80人参加
 12月～3月 阿津賀志山防塁展
 ○内谷春日神社太々神楽保存会・国見町子ども太々神楽教室育成会
 10月～11月 子ども太々神楽教室の開催
 ○(一社)二重堀サポートネットワークによる中尊寺蓮の育成、PR事業
 7月10日、11日 あつかし千年公園のライトアップ
 7月～8月 あつかし千年公園を会場とした蓮まつりの開催
 9月 絵画コンクールの開催 198名からの応募

【町外団体】
 ○JR東日本による「JR小さな旅」の開催 1回開催

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	例年、大木戸歴史むらづくりの会と連携してあつかし歴史館を会場としたイベントを行っていたが、今年度はコロナの影響により、地元団体からの協力を得られず中止となった。今後はイベント参加者だけでなく、事業運営の協力者へのコロナ等の安全面へ配慮した対応を行いながら、事業を続けていきたい。

状況を示す写真や資料等



郷土史研究会方部研修会



中尊寺蓮絵画コンクール

評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財の保存・活用に関わる近隣市町村および関連機関との連携・協力した取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 当町の文化財を保存・活用していくためには、本町をはじめとする行政機関だけで取り組むことは難しく、地域において文化財の保存・活用に取り組んでいる団体と連携することは不可欠である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【主催事業】

- 国見小学校 郷土学習(史跡探検・旧佐藤家住宅見学学習)
- 県北中学校 総合学習(町の歴史について)
- 公民館事業 成人学級・国見ジュニア応援団(史跡巡り)
- 福島大学 域学連携事業(内谷集落活性化)
- 郡山女子大学 松田家住宅調査

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



国見小学校「郷土学習・旧佐藤家住宅見学」



県北中学校「総合学習・町の歴史について」



公民館事業・成人学級「歴史探訪ウォーキング」



郡山女子大学「松田家住宅調査」

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
あつかし歴史館特別展「阿津賀志山三十三観音八十八大師画像碑群展」	令和3年7月5日	福島民友
あつかし千年公園オープン	令和3年7月11日	福島民報・民友
中尊寺蓮絵画コンクール	令和3年9月27日	福島民報・民友
子ども太々神楽の伝統継承(内谷春日神社太々神楽・太々神楽教室)	令和3年10月17日	福島民友
文化財 火災から守れ 国見町消防団放水訓練	令和4年2月1日	福島民報
鎌倉軍翻弄した城塞 福島県阿津賀志山防塁	令和4年2月7日	産経新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
歴史まちづくりに関わる取り組みを積極的に報道機関へ情報提供し、発信が図れた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		
<p>●文化財センターに関する記事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あつかし歴史館特別展「阿津賀志山三十三観音八十八大師画像碑群展」(令和3年7月5日 福島民友、令和3年7月8日 福島民報) <p>●祭礼・イベントに関する記事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども太々神楽の伝統継承 内谷春日神社太々神楽・太々神楽教室(令和3年10月17日 福島民友) ・文化財 火災から守れ 国見町消防団放水訓練(令和4年2月1日 福島民報) <p>●阿津賀志山防塁に関する記事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あつかし千年公園プレオープン(令和3年6月16日 福島民友、令和3年6月21日 福島民報) ・あつかし千年公園オープン(令和3年7月11日 福島民報・民友、令和3年7月14日 福島建設工業新聞) ・中尊寺蓮池(令和3年9月1日 農業共済新聞) ・中尊寺蓮絵画コンクール(令和3年9月27日 福島民報・民友) ・鎌倉軍翻弄した城塞 福島県阿津賀志山防塁(令和4年2月7日 産経新聞) 		
		
文化財防火デー 国見町消防団放水訓練 (令和4年2月1日記事掲載)	あつかし千年公園オープン	

評価軸⑥-1
その他(効果等)

項目 評価対象年度 令和3年度

文化財の保存・活用の普及・啓発による効果

計画に記載している内容
本町では、本町の文化財の活用を効果的に行うために、町内外の多くの人々に文化財の存在を知ってもらい理解してもらう機会を提供する普及・啓発の取り組みを行ってきた。奥山家住宅などの歴史的建造物等については、町のイベントや文化財公開デーなどの機会に内部を公開し、町内外の人々へ魅力を発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和3年度案内ボランティア(くにみ案内人)利用者延べ人数及び利用団体数は399名、16団体の利用で、前年度よりは増となったが、新型コロナウイルスの影響により、例年と比較すると大幅に減少した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止及び、福島県沖地震からの災害復旧工事を行っていたため奥山家住宅一般公開を行わなかった。

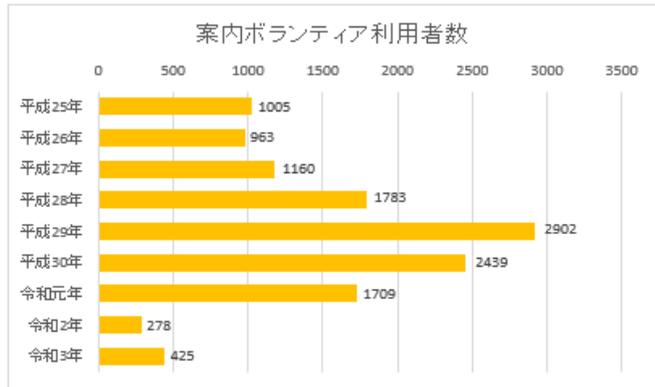
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし
案内ガイドの健康安全に配慮した活動。
歴史的建造物の内部一般公開の機会が減少したため、デジタルコンテンツを活用し、魅力をPRしていく。

状況を示す写真や資料等

■案内ボランティアの利用実績

年度	利用者延べ人数	団体利用延べ人数
平成25年	1,005人	14団体
平成26年	963人	13団体
平成27年	1,160人	34団体
平成28年	1,783人	48団体
平成29年	2,902人	70団体
平成30年	2,439人	48団体
令和元年	1,709人	32団体
令和2年	278人	9団体
令和3年	425人	17団体



■国登録有形文化財 奥山家住宅洋館・主屋の一般公開

	来館者	うち町外者数(割合)
平成26年9月23日 義経まつり	440名	290名(66%)
平成27年9月20日 義経まつり	652名	529名(81%)
平成28年3月5日 奥州街道フードフェスタ	651名	365名(56%)
平成28年9月22日 義経まつり	722名	459名(63%)
平成29年3月5日 奥州街道フードフェスタ	693名	485名(70%)
平成29年9月22日 義経まつり	713名	492名(72%)
平成30年3月4日 奥州街道フードフェスタ	695名	491名(71%)
平成30年9月28日 義経まつり	746名	567名(79%)
令和元年9月23日 義経まつり	622名	500名(80%)
令和2年 義経まつり	中止	-
令和3年 義経まつり	中止	-



評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第8回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和4年5月26日	
<p>(コメントの概要)</p> <p>【進捗評価について】</p> <p>①評価軸③－4無形文化財についてどのようにして継承していくか他団体でも深刻な報告を受けている。国見町ではどのような問題を抱え、どのような支援をしていくのか。</p> <p>②評価軸④－1文化財の維持・修理に関する取組について、財源確保が課題となっているが、どのように考えているのか。</p> <p>③評価軸④－4文化財防災・防犯について、町では今回の地震の被害についてどの程度把握しているのか。</p> <p>④千年公園がオープンして約1年となるが、1年間の利用状況はどのようなものか。</p> <p>⑤歴史館と千年公園、千年公園と道の駅のネットワークが今後重要になっていると思う。今後検討いただければ。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>①この2年祭礼ができず、演者のモチベーションが下がってしまう。町は発表する機会を積極的に作っていく。無形民俗文化財についてはお金がかかるので、着物・楽器等の物について手厚く支援していきたい。地区に限らず広く演者を募集し、人員の確保の面で支援したい。</p> <p>②令和3年6月に新たに要綱を作り、補助金として町で150万円まで支援できるようにした。歴史的建造物については特殊性・希少性のため修繕費用がかさむ。登録有形文化財の修繕について国・県のメニューが無く、厳しい状況だが、クラウドファンディングを利用するなど工夫しながら国見町の文化財を守っていきたい。</p> <p>③町内37文化財のうち、5つの文化財について大きな被害があったと把握している。</p> <p>④年間通しての来場者数はカウントはしていないが、7月から8月の蓮祭り期間には2000名程度来場があった。蓮の時期以外について来場者があまりなくなるので、活用方法を考えていきたい。</p> <p>⑤ガイダンス施設と文化財施設の周遊性向上については今後検討していきたい。</p>	